



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 2 月 14 日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

(コード番号:9715 東証第 1 部)

(URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長兼 COO 奥田 昌孝
責任者役職・氏名 執行役員経理財務本部長 荒木 正敏

(TEL:(03) - 4363 - 1111)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容)

・連結 (新規) 5 社 (除外) 7 社 ・持分法 (新規) 5 社 (除外) 3 社

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	68,690	20.5	2,491	67.6	4,596	625.0	3,543	
16 年 3 月期第 3 四半期	56,993		1,486		633		890	
(参考)16 年 3 月期	77,918		2,945		2,065		952	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	154	16	143	39
16 年 3 月期第 3 四半期	37	09		
(参考)16 年 3 月期	39	34	39	22

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

第 3 四半期までのわが国経済は、前半は設備投資の増加や企業収益の改善がみられ、堅調に推移しましたが、後半に入り、原材料価格の高騰や円高の進行などで先行きの不透明感が広がっております。

当社グループにおきましては、情報サービス事業分野においては、デジタルマーケティング関連サービス・コールセンター/コンタクトセンター事業を中心とするマーケティングチェーンマネジメントサービス事業、開発サービス事業、サポートデスクサービス事業のいずれの事業分野についても、上半期に引き続いて受注は好調に推移いたしました。

ベンチャーキャピタル事業分野においても、当初の計画に基づく保有株式の一部売却を継続しております。

その結果、当第 3 四半期までの累計の連結業績は、売上高 68,690 百万円(前年同期比 20.5%増)、営業利益 2,491 百万円(同 67.6%増)、経常利益 4,596 百万円(同 625.0%増)、四半期純利益 3,543 百万円(前年同期、四半期純損失 890 百万円)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
17 年 3 月期第 3 四半期	81,586		54,689		67.0	2,404	08	
16 年 3 月期第 3 四半期	61,955		46,807		75.6	2,016	91	
(参考)16 年 3 月期	71,136		54,084		76.0	2,329	80	

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	2,759	259	7,953	26,341
16年3月期第3四半期	6,375	799	3,228	16,960
(参考)16年3月期	9,108	5,142	3,231	15,183

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

財政状態の変動状況

当第3四半期末の連結総資産は、前期末に比べ10,450百万円増加し81,586百万円となりました。また、負債の部についても、前期末に比べ9,758百万円増加し、23,539百万円となりました。これは当社が6月にユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行したことによるものであります。資本の部については、前期末に比べ604百万円増加し、54,689百万円となり、株主資本比率は67.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況

営業活動におきましては、2,759百万円の資金の増加となりました。

投資活動におきましては、投資有価証券の売却による収入2,165百万円、関係会社株式の取得による支出1,054百万円、有形固定資産の取得による支出568百万円等により、259百万円の資金を得ました。

財務活動におきましては、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行による収入9,934百万円等により、7,953百万円の資金を得ました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末に比べ11,158百万円増加し、26,341百万円となりました。

(参考)四半期個別経営成績等の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	60,522	2,740	4,720	2,570

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	78,545	57,006

3.平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	91,500	6,000	4,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 175円84銭

【業績予想に関する定性的情報等】

通期の業績予想につきましては、第3四半期の業績が計画を上回って推移していることから、平成16年11月18日に発表した通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

(参考)平成17年3月期の個別業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
通 期	79,500	6,000	3,100		20.00	20.00

なお、上記の予想数値は、業界の動向、顧客企業の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の数値と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以 上